

1

プレスリリース

NMAO | PRESS RELEASE

2011/08/15

アンリ・サラ Anri Sala

2011年10月4日(火)~12月11日(日)

国立国際美術館

国立国際美術館では、企画展「アンリ・サラ」を開催いたします。

1974年、アルバニアのティラナに生まれ、現在はベルリンを拠点に制作しているアンリ・サラは、活動の範囲を世界に広げ、映画やビデオ、写真作品でよく知られています。これまでもヴェネチア・ビエンナーレ、サンパウロ・ビエンナーレ、横浜トリエンナーレなどの国際展への出品や、ポンピドゥー・センター、アート・インスティテュート・シカゴをはじめ世界各国の美術館における個展の開催やグループ展への参加が続いています。

初期の作品では、旧社会主義国家出身という出自を背景にした政治的、自伝的要素を含む映像を発表して注目を集めました。一方で彼は長年、音と空間の関係性を再構築することに強い興味を持ち続けています。それは個々の要素が確固とした存在を示しながらも、複合的な関係を保つ上で、その意味合いは多様性を持ち、可変のものになりうるという可能性を探っています。近年では特にイメージとサウンドに関心を寄せ、建築を取り巻く音やありふれた光景への注視といったテーマが作品に見受けられます。

またサラは、ムービング・イメージとサウンドの関係性を再構築した展示空間を作り上げる作家としても高い評価を得ています。本展は、サウンドと建築をテーマにした近年の映像作品《ザ・クラッシュ》(2010年)と《アンサー・ミー》(2008年)の2点を中心に、オブジェと写真作品群により構成されます。国立国際美術館のスペースにあわせてアンリ・サラ本人が考えた展示構成は、一点一点をそれぞれに鑑賞するというよりも、オブジェ作品であるスネアドラムの音が刻まれる空間で鑑賞者が映像作品のサウンドとイメージに向き合うように仕組みられています。

本展は、日本の美術館では初のアンリ・サラの個展となります。この機会をお見逃しなくよう、是非ご覧ください。

■開催情報

- ◇展覧会名 アンリ・サラ Anri Sala
- ◇会 期 2011年10月4日(火)～12月11日(日)
- ◇会 場 国立国際美術館 B2階展示場 (大阪市北区中之島4-2-55)
- ◇開館時間 午前10時から午後5時、金曜日は午後7時まで開館(入館は閉館の30分まで)
- ◇休館日 毎週月曜日、ただし10月10日(月・祝)は開館、10月11日(火)は休館
- ◇観覧料 当日／一般420円、大学生130円
団体／一般210円、大学生70円 ※団体は20名以上

※高校生以下並びに18歳未満、65歳以上、心身に障害のある方とその付添者1名：無料
(証明できるものをご提示いただく場合があります。)

※本料金で「中之島コレクションズ 大阪市立近代美術館&国立国際美術館」もご覧になれます。

- ◇主 催 国立国際美術館
- ◇協 賛 財団法人ダイキン工業現代美術振興財団
- ◇協 力 Kaikai Kiki Co., Ltd.

※カイカイキキギャラリー(東京)では当展会期中の10月14日(金)～11月10日(木)の期間、アンリ・サラの個展を開催いたします。合わせてご覧下さい。

■関連イベント

[オープニングパフォーマンス]

※10月3日(月)内覧会の際に、《ザ・クラッシュ》の作品モチーフとして登場するバレル・オルガンをを用いたパフォーマンスをアンリ・サラが行います。

取材を希望される場合は、当館広報担当者までご連絡ください。

[ギャラリー・トーク]

担当学芸員による作品解説

11月12日(土) 14:00～ 場所：B2階展示場

※無料(要観覧券)

当日13:30から聴講用ワイヤレス受信機を貸し出します。(先着90名)

[アーティスト・トーク]

会期未定

※日時等詳細は決定次第、当館ホームページに掲載します。

■ 出品作品介绍

《アンサー・ミー》

ベルリン郊外の「トイフェルスベルク（＝魔の山）」と呼ばれる場所で撮影された映像作品。バックミンスター・フラワーにより設計されたジオデシック・ドームを持つこの廃墟は、かつて NSA（国家安全保障局）により運営され「エシュロン」の一部としても機能しており、冷戦時代にはアメリカ軍が旧ソ連や東独の盗聴を行っていたと言われている。この施設の下には、アルベール・シュペーアによって設計されたナチスの陸軍士官学校と巨大な地下壕の瓦礫がある。

女性が2人の関係に終わりを求めるが、男性は答えようとせず女性の問いかけをさえぎるようにドラムを叩き続ける。ドラムの音にかき消されながらも、女性の唇は動く。優れた音響効果を持つドームの下で、ドラムの音は響き続ける。



《アンサー・ミー》 2008 Film still ©Anri Sala2011

Courtesy of the artist, Marian Goodman Gallery, New York; Hauser & Wirth; Johnen/Schöttle, Berlin, Cologne, Munich; Galerie Chantal Crousel, Paris

《ザ・クラッシュ》

イギリス出身のパンク・ロックバンド「ザ・クラッシュ」の代表曲の一つ「ステイ・オア・ゴー(Should I Stay or Should I Go)」が、仏ボルドーのさびれたコンサート・ホール前でバレル・オルガンとオルゴールから流れる。2人の男性が音を奏で、女性の歌声が聞こえる。「とどまるべきか、行くべきか」。



《ザ・クラッシュ》 2010 Film still ©Anri Sala2011 Courtesy the Galerie Chantal Crousel, Paris

掲載の画像を含む最新のプレス画像は、別紙申込書または国立国際美術館ウェブサイトにて申請いただけます。

[<http://www.nmao.go.jp/press/index.html>]

お問い合わせ先

TEL: 06-6447-4680 (代表) FAX: 06-6447-4698

〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島4-2-55 国立国際美術館